

5年にわたって繰り上げられる  
東西狂言界のホープ達による競演!



# 新進 若 狂言

平成12年3月24日 金

午後6時30分開演(午後5時30分開場)

狂言「毘沙門」(大蔵流) 山本泰太郎  
狂言「賞 智」(大蔵流) 茂山宗彦  
狂言「武 悪」(大蔵流) 山本則孝  
狂言「鐘の音」(大蔵流) 茂山正邦

#### ◆入場料

正 面:3,500円 脇正面:3,000円  
中正面:2,500円 2 階:2,500円

#### ◆チケット発売

横浜能楽堂チケット売場  
平成12年2月19日(土)午後2時より発売  
(電話受付は同日午後2時30分より)

#### ◆お問い合わせ・お申し込み

横浜能楽堂 〒220-0044 横浜市西区紅葉ヶ丘27-2 Tel.045-263-3055

#### ◆主催

横浜能楽堂(財団法人 横浜市文化振興財団)

※会場には駐車場はございませんので、ご来場の際には電車・バスをご利用下さい。  
※会場への飲食物の持ち込みはご遠慮下さい。お食事は会場内のレストランをご利用下さい。

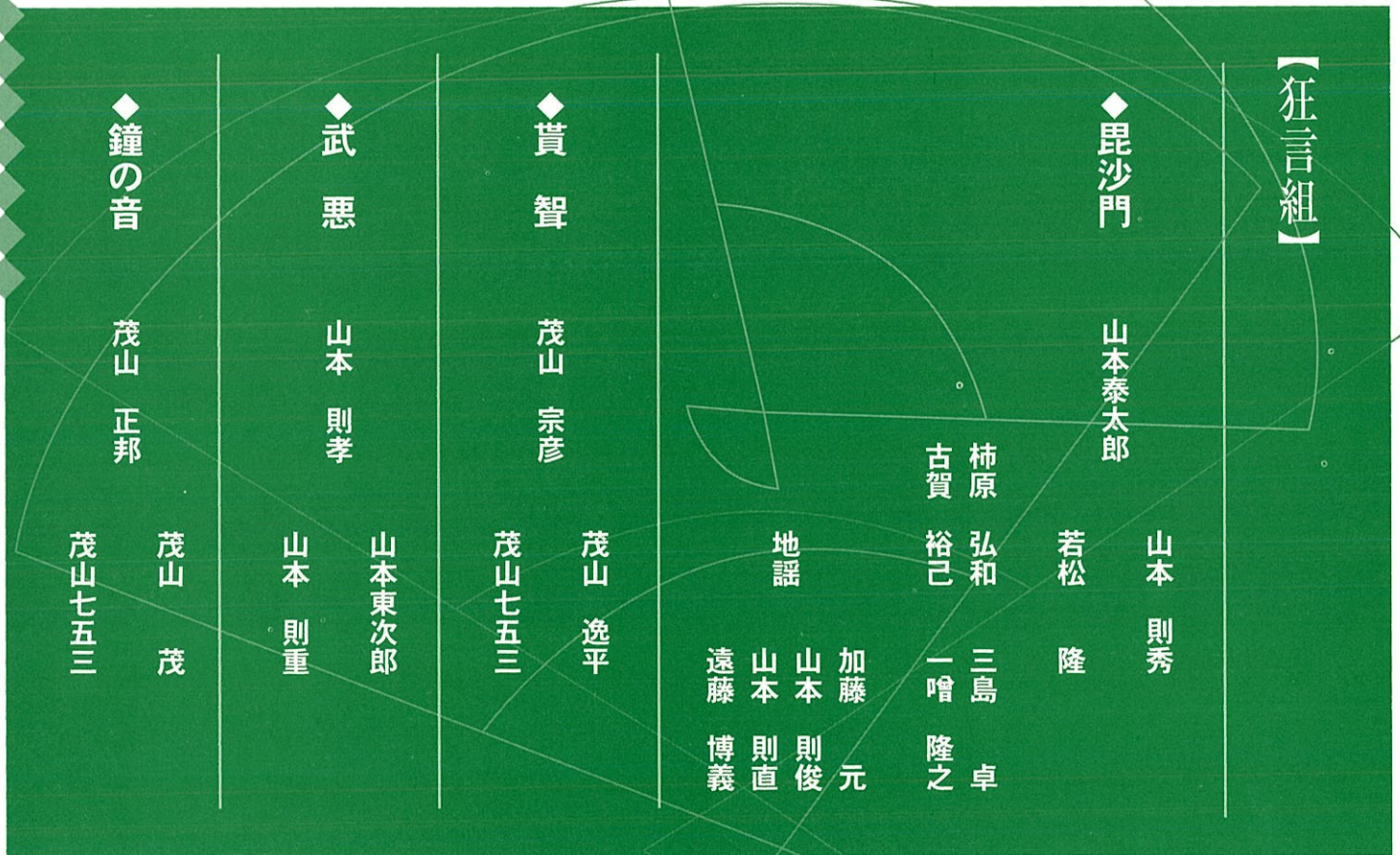


# 新進立合狂言

「新進立合狂言」は2000年から5年間、西は軽妙洒脱な芸風の京都の茂山家(狂言方大蔵流)、東は剛健な芸風を守る東京の山本家(狂言方大蔵流)から、21世紀の狂言界を担うホープ達を迎えて「競演」してもらうもの。芸風の違う両家の狂言を見比べる、という意味でも興味深い公演です。また、5年間を通じてみると、それぞれの演者の成長を目の当たりにすることもできます。

そもそも「立合」とは、世阿弥の『風姿花伝』や『申楽談義』にも記述が見られるほど古くから行われていた競演のことで、能楽の前身である猿楽や田楽などでも行われていました。この公演は、今日ではほとんど行われることのなくなってしまう公演形態を蘇らせようというものです。

さあ、あなたもその瞬間に立ち会いませんか？



## 次回以降の予定

- 平成13年 (2001年)
- 平成14年 (2002年)
- 平成15年 (2003年)
- 平成16年 (2004年)

### 山本家

「文相撲」山本 則秀  
 「節分」山本 則重  
 「素袍落」山本 則孝  
 「磁石」山本泰太郎  
 「宗論」山本 則孝  
 「塗師」山本 則重  
 「餅酒」山本 則秀  
 「花盗人」山本泰太郎

### 茂山家

「文山立」茂山 茂  
 「察化」茂山 逸平  
 「薩摩守」茂山 宗彦  
 「朝比奈」茂山 正邦  
 「呼声」茂山 逸平  
 「文蔵」茂山 茂  
 「抜殻」茂山 正邦  
 「鶏聲」茂山 茂

※やむを得ず出演者・曲目などを変更する場合がありますので、あらかじめ御了承ください。